



KSKQ 萌風香 2022年度春号

誰もが生き生きと
自分らしく暮らせる
心豊かな社会を
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.76 2022.4.16 編集人 社会福祉法人萌 定価 150円
〒630-0256 奈良県生駒市本町7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

法人経営の安定化・人材の育成 ～第4期中期計画を作成～

萌では、中期的に重点的に取り組む事業や活動について、3年ごとに中期計画を立てています。今回、第4期中期計画(2022年度から2024年度まで)を策定しました。

策定にあたり、中長期ビジョンを明確にしました。超少子高齢化・人口減少から、人々の課題がより複雑で多様なものとなる「2040年問題」を見据え、社会福祉法人の使命として、地域の福祉ニーズに柔軟に添えて地域におけるセーフティネットの役割を果たすこと、精神障害者の権利擁護に軸足を置きながら、福祉的な支援が必要な人や制度の狭間にある人の困りごとに幅広く対応していくことです。

そして、活動指針として4つの柱「経営に関する取り組み」「支援に関する取り組み」「地域社会への取り組み」「人材に関する取り組み」と、それぞれに重点項目を立てました。(項目の詳細は別表に示しています)

その活動指針をもとに、法人全体、5つのエリア(生駒、郡山、西和、高田、橿原)、総務部、3つのセンター(人材開発、研修・研究、広報・情報)がそれぞれに取り組むことをまとめました。

第3期中期計画で取り組んでいた、精神科病院や施設から希望する地域での生活や、高齢期を迎えても住み慣れた街での生活を支える体制づくり

中長期重点項目・活動指針

| | |
|---------------------|------------------------|
| A 経営に関する取り組み | |
| A-1 | ガバナンスの強化 |
| A-2 | 経営基盤の強化 |
| A-3 | 施策への関与 |
| B 支援に関する取り組み | |
| B-1 | 精神科病院や施設から地域での生活を支える支援 |
| B-2 | 高齢化に対応する支援 |
| B-3 | 働くことへの支援 |
| B-4 | 権利擁護意識の向上 |
| C 地域社会への取り組み | |
| C-1 | 偏見・差別解消への取り組み |
| C-2 | 地域における公益的な取り組み |
| C-3 | 情報発信・広報活動の強化 |
| D 人材に関する取り組み | |
| D-1 | 人材定着の取り組み |
| D-2 | 採用・人材確保の対策 |
| D-3 | 地域の福祉人材の育成 |

では、まだまだ解決できていない課題もあります。

引き続き、地域に応じた課題へ取り組み、精神障害者にとっても安心して生活できるような体制を地域で作っていくこと、そして、十分な取り組みや活動ができるように、法人経営の安定化、人材の育成を図っていきます。

福祉統括部長 山本 桂子

このたびの中期計画の柱の一つともなりますが、精神保健福祉・社会福祉の専門家として確かな技術や知識を身に付けるために法人内研修を充実させること、また彼らの持つ力を十分に発揮し、やりがいを感じながら働き続けることができる職場環境を整えることに力を注ぎ、質の高い支援が継続できるように取り組んでまいります。

四徒然

社会福祉法人萌
理事長 吉川 郁子

この春、6名の職員が萌に入職いたしました。精神保健福祉士や社会福祉士、そしてそれを目指す者たちです。それぞれが福祉への使命感や責任感、高い志を持っており、頼もしい限りです。

この先日本の人口が減り、働き手世代も減っていく中で、いい福祉人材を確保してしっかりと育成していくことがとても大切になると感じています。

生駒エリア

| | | | |
|------------------|--------------|--------------------|--------------|
| 生活支援センターコスモールいこま | 0743-73-7000 | 地域活動支援センターコスモールいこま | 0743-73-0900 |
| ひだまり | 0743-85-4196 | コミュニティスペースはなな | 0743-73-1050 |
| グループホーム楽都 | 0743-73-0141 | | |

病院をでて 街で暮らしたい

中期計画の「地域移行をすすめると同時に地域の受け皿を増やす」という目標を達成する一環として地域移行・地域定着支援研修会を3月8日(火)



「お互いを知ることによって信頼関係を築くことが大切」と話す竹下さん

北コミュニティセンターISTA はばたきで開催しました。

「病院での取り組み～地域社会での取り組み」というテーマを生駒市内で活動している一

般社団法人イーデンホール 法人代表 竹下昭彦さんの講演があり、28人の参加者と一緒に学びました。

精神障害者が安心して街で暮らすには、お互いのことを知ることが大切であると竹下さんは話します。例えば、精神科病棟に勤めている人たちがどれだけ地域福祉のことを知っているか、地域の事業所は精神科の入院治療を理解しているか、住民には地域の社会資源についてどこまで認知されているかなど。

後半には、地域活動支援センターコスモールいこま利用者の体験発表を行いました。精神科病院で入院中の利用者に、今の思いや退院後の希望する生活等を手紙やオンライン面会を通して聞き取りました。現在、外出が難しいので、聞いた内容を文章にし、同じく利用者の石村博美さんが今の思いを代読しました。

今はコロナ禍であるため、「自由に外に出られない」「病棟の中では音楽を聴いたりしている」とのこと。

そして、石村さんも自身の入院体験を交えて話しました。今は日々の生活でいろんな社会資源を利用しながら、自分の希望する生活を送っています。そして、入院したからこそ病気と向き合うことが出来たと語る石村さん。

参加者からは「本人しかわからない辛さがあると思うので、直接聞いて感じられてよかった」「ピアの伝える力を感じました」と感想がありました。

私たちは電話や面談、通院同行、ケア会議などをツールにして本人の思いを聞き取り、希望する生活のサポートを行っています。

理解はしているものの「当たり前」に飲み込まれると大事な支援の土台(信頼関係、関係機関との連携、傾聴など)が崩れてしまいます。

すでに福祉資源とつながりがある利用者もいれば、本人だけで悩みを抱えている、家族が困っているなどのまだ福祉や支援に行き届いていない人もいます。

地域福祉に携わる私たちができることを考え、退院時に関係機関と連携をしながら、本人が安心して生活できる環境を一緒に考え、支援します。

さらに、地域住民のみなさんの理解と協力があれば、誰もが生き生きと暮らせる街になります。これからも精神障害のことを知ってもらえる機会を作り、発信していきます。



入院している利用者や自分の思いを熱く語る石村さん



飛び込みで来て、これからも勉強したいという人も

| 郡山エリア | | | |
|--------------|--------------|----------------|--------------|
| 生活支援センターふらっと | 0743-54-8112 | 地域活動支援センターふらっと | 0743-54-3977 |
| ふれあい工房 | 0743-54-6701 | 彩食キッチンBon | 0743-58-5572 |
| グループホームもえぎ館 | 0743-85-4112 | | |

ピアサポーターが輝く場所を ～大和郡山市ピアサポーター派遣事業～

地域活動支援センターふらっとでは、大和郡山市ピアサポーター派遣事業の委託を受けています。

3月には「ピアサポーター活動の実際と思い～ピアサポーター・雇用者、それぞれの立場から～」と題してリモート講演会を行い、市内外の約30人が参加しました。



ソーシャルディスタンスを取って参加

講師は、兵庫県西宮市にあるNPO法人ハートフル 障害者相談支援センター輪っふるのセンター長である都留明子さん。そして、実際にピアサポーターとして活躍されている面高陽子さん、辰巳伸一さん、園尾昌弘さんです。

活動内容は、地域移行・地域定着支援に伴う、退院のお手伝いや、通院の付き添い、患者さん用にビデオレターの作成など多岐にわたります。

講演会の参加者からは、「自分の病気の経験が、何かの役に立たないかなあと思っていたので、希望になった」「雇用し協働する中で、雇用者もピアサポーターも、共に成長しあっているのがわかった」「人を支える仕事でも、まず自分を大事にすることの大切さを知った」「みんなと協力し、責任を持ちつつ、自分の調子を大事に働くピアサポーターの仕事をやってみたいと思った」「ピアの役割の大きさ、可能性を感じた」などの感想がありました。

今回のお話をもとに、「支援者にはできない、ピアの役割がある。大和郡山市でもピアサポーターの活躍の場を作って行けたら」と地域活動支援センターふらっと職員である桑原由香さんは話します。

「サポートネットつなぐ」 ～まちかど障害相談窓口の取組み～

大和郡山市地域自立支援協議会の全体会が、コロナ感染防止対策のため対面開催を避け動画配信となりました(市ホームページ参照)。

その中で、市厚生福祉課障害福祉係・喜多係長が、「サポートネットつなぐ」を2022年4月に始動すると宣言しました。

誰一人、地域で孤立したまま取り残さない。

悩んでいる人が、ステッカーの貼ってある協力機関に相談すれば、内容によって適切な相談窓口につながる

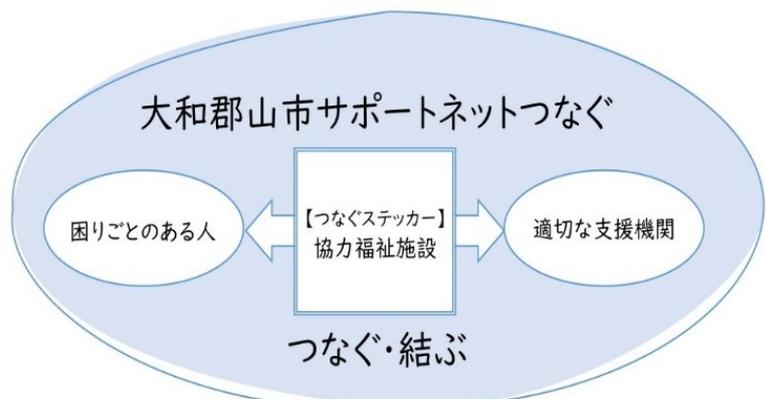


サポートネットつなぐのステッカー

仕組みです。

協力機関は、相談者の話をじっくり聞いたら、「つなぐマニュアル」の冊子を見てどこにつなげばいいかを判断します。

難しい時には、市役所や支援センターに相談することもできます。



つなぐのイメージ図

また、適切な支援機関につなぐ場面を通して、支援者同士が顔の見える関係になり、地域のネットワークが網の目のように細かくなっていきます。

そして、顔の見えるつながりは、異動があっても、世代が変わっても揺らがない連携システムに成長していくことが期待されます。

今後、定期的に研修や報告会を重ねることで、協力機関になったところも相談対応のスキルが上がり、地域全体の相談体制が強化されることにつながっていきます。

西 和 エ リ ア

生活支援センターぽると・ベル 0745-43-5541 地域活動支援センターまーぶる 0745-75-6545

らそら 0745-70-1577 グループホーム彩友館 0745-43-9333

正しく知ってほしい 広がる啓発の機会

啓発をすすめる活動に取り組んできた西和エリア。その活動が徐々に広がっています。

ぽると・ベルは1月21日、斑鳩町の民生委員に向けて「精神障害について」講演しました。当日は障害者部会から16名が参加。「ひきこもっている方への関り方は?」「うつ病にはサイクルがあるの?」など途切れることなく質問があがり、一つ一つに答えました。



「温かく見守ってほしい」とメッセージを伝えます

事前打ち合わせでは、「精神障害のある方を見かけた時に、どう声をかけて良いか。そもそも声をかけて良いのかどうか…」など部会長さんの率直な気持ちを聞くことができました。

コロナ前には、西和エリアの施設見学をして頂いた斑鳩町民生委員。今回も直接お話できたことで、地域を支えている皆さんの熱心な姿に触れることができました。

SHG を学ぼう 共通の苦労を見出す“自分たちの場”

共通の病気や困難からの回復を目指す「セルフヘルプグループ(以下:SHG)」。アルコール依存症患者やがん患者など様々なグループがあり、同じ問題や悩みを抱えた人たちが仲間と体験を共有し分かち合いをしています。



メモを取りながら熱心に耳を傾ける参加者

西和7町には精神障害者の SHG がまだありません。まーぶるではこれまで、西和7町自発的活動支援事業を受託し、立ち上げに向けて学習会の企画を行ってきました。今回は12月21日と1月25日の2回、松田博幸先生(大阪府立大学)や橋本直子先生(関西学院大学)、実際に大阪府高槻市で活動している高槻・無名の統合失調症者、精神疾患者たちの会(以下、TSA)メンバーの峯さんに講演していただきました。

松田先生は SHG について、「専門職や権威のある人にコントロールされてない場」「自分たちの場であるという感覚をもっている場」「みんなで鎧を脱ぐ場」「どうやって生きのびていけばよいのかを学ぶ場」であり、そのような場で安心して自分について語れることの大切さを話されました。

橋本先生には、中でも統合失調症の方などを対象とした SA(スキゾフレニクスアノニマス)の成り立ちや立ち上げに関わった経験についてお話をしていただきました。

峯さんからは、実際に TSA を立ち上げた当時のことや、運営していく上での苦労について聞くことができました。運営のポイントとしては、「『当事者だけで運営し、対等な立場である』『共通の苦労を見出していく』『ルール作りをする』などがある。しかし、運営に正解はなく、自分たちでどんなグループにしていきたいかを話し合うことが大切」というメッセージをいただきました。

参加者からは、「実際の体験談を聞くことができてよかった」「自助グループの活動のイメージを持てた」などの感想があり、改めて SHG についての理解を深める機会になりました。

高田エリア

| | | | |
|-------------|--------------|---------------|--------------|
| 生活支援センターなっつ | 0745-23-7214 | 地域活動支援センターなっつ | 0745-23-8105 |
| マインドホーム高田 | 0745-23-8072 | おかわり | 0745-23-5625 |
| えいぶる | 0745-52-5752 | あっとほーむ香芝 | 0745-44-8023 |

0円食堂、始まります！



0円食堂のメニューを楽しむ利用者

あっとほーむ香芝では、香芝市からもらった食材を使用し事業所内で0円食堂を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で学校が休校になってしまっている人が増えてきています。香芝市ではフードロス対策の一環で、広陵・香芝合同給食センターより本来提供される予定だった給食の食材を社会福祉協議会などを通じて市内の福祉施設に分配する取り組みが行われています。

この食材を一人暮らししている利用者など、一人でも多くの必要としている人に届いてほしいという思いから、0円食堂が企画されました。

近隣住民を招いての形も検討されましたが、保健所への申請なども必要になってくるため断念。事業所に通所する利用者を対象に行われました。

今回の食材はコロッケ、メンチカツ、にんじんやブロッコリーなどの野菜が届きました。そのまま渡しては持って帰る人が調理できる人に限られてしまいます。より多くの人に持って帰ってもらうため、野菜はミネストローネに、冷凍された状態で届いたものはレストラン咲咲の調理師に頼み、すぐに食べられる状態で用意することで、食べて帰る・持って帰るなどは自由にできる形を取りました。

もちろんお金はかかりません。いつもは閉所している土曜日に開催され、当日はいつもより多い10人ほどが来所。普段はあまり姿を見せない人も参加しました。中にはみんなと食べるためにデザート

を家から用意し持参している利用者も見られ、和気あいあいとした雰囲気の中で食事を楽しみました。

新型コロナウイルスの影響で室内でのレクリエーションが中心となっても参加人数がいつもより増加するようになったあっとほーむ香芝。堀川有所長は「室内での活動の需要があることも知ることができた。一人暮らしの人にはみんなで食事を楽しむという機会はあまりないと思うので、今回のような作業とはまた違う共通した体験を今後も大切にしていきたい」と今回の活動を振り返ります。

参加者からも好評で「ぜひゴールデンウィークの間もやってほしい」といった声も聞かれました。今後ももらった食材により開催を検討していきます。



コロッケも好評でした！

香芝市社会福祉法人連絡会が発足

香芝市内での地域における公益的な取り組みの推進を目的に、香芝市社会福祉法人連絡会が設立され、あっとほーむ香芝も参加することになりました。

「地域における公益的な取り組み」とは、社会福祉法人が地域社会に貢献するための活動で、無料または低額な料金で福祉サービスの取り組みを行うことは社会福祉法で義務付けられています。

他府県では生活困窮世帯の子どもに対する学習支援やフードドライブ事業などの取り組みが行われています。

連絡会の中では地域公益活動部会、人材発掘・育成部会、広報情報共有部会の3部門が設けられ、あっとほーむ香芝は地域公益活動部会に所属することになりました。活動内容については今後検討していく予定です。

檀原エリア

| | | | |
|---------------|--------------|-----------------|--------------|
| 生活支援センターぴあぽ〜と | 0744-24-2020 | 地域活動支援センターぴあぽ〜と | 0744-24-2070 |
| 生活支援センターいろは | 0744-32-7753 | ひなた舎 | 0744-32-7745 |
| P i t 八木 | 0744-21-5666 | グルームホーム南 | 0744-24-2050 |

家族の思いもっと広めて

～磯城郡で精神保健福祉講座を開催～

川西町文化会館で2月9日、川西町主催の磯城郡精神保健福祉講座が開催されました。

講座では、NPO 法人奈良県精神障害者家族会連絡会（通称：まほろば会）の事務局長奥田和夫さんが、『家族が精神疾患になったら～闘病を支える親の話と家族会の歴史』と題した講演をしました。当日は、民生児童委員や当事者・家族、福祉関係者など約20人が参加しました。



家族の思いを熱心に聞く参加者

奥田さんは当事者の息子を持つ家族です。家族の経験として「息子の発症当初は、何となく様子がおかしいと思いながらも、まさか精神疾患だなんて思いもしなかった」と話します。

ようやく今年の4月から学校教育にも精神疾患の普及が盛り込まれるようになりましたが、これまで当事者はもちろん親にも正しい知識を学ぶ機会はありませんでした。だから、気づけないし対応の仕方も分からない。どの家族も混乱の中で、子どもへのかかわりが始まるのです。

そのため奥田さんは「精神疾患が『誰でもなる病気であること』の理解が重要」と話します。また、行政任せにせず、家族会活動の中から、現状を変える声を上げていく大切さを訴えました。

磯城郡外から参加した男性は「他の市町村で精神保健福祉の勉強会が開催されているのを見たことがない。ましてや、家族の想いを聞いたのも初めて。もっとこのような機会を奈良県中に広めてほしい」と話してくれました。

春の訪れを感じて

～花の手入れをしました♪～

春を感じる、3月下旬のぽかぽか陽気のある日、ぴあぽ〜とでは、花壇の手入れをしました。

ぴあぽ〜との前の参道は、銀杏並木が立ち並び、年2回、久米町の住民の方と手入れをして、美しい風景を保っています。

季節を問わず、近隣の方々は、チューリップの花を植えたり、まめに花壇の手入れをしているので、道行く人々の心を和やかにしてくれます。

また、時々、近隣の方々と、花壇を見ながら、花の種類や手入れの仕方について聞いたり、教えてもらうこともあります。

その甲斐もあって、銀杏の木の花壇には、パンジーやビオラの花たちが、いつも元気に咲いています。

いよいよ、寒かった冬も過ぎ、外の空気を吸うのも心地よくなってきたので、パンジーやビオラが元気に育つように、雑草を抜いたり、きれいに植え替えをしました。

みんなで、手入れをしながら、「春を感じたなー」「花も生き物やから、これからも手入れしよう」「夏場は水やり頑張ろう!」とワイワイおしゃべりも弾みます。

コロナ禍もあって、サロンで過ごす冬でしたが、これからは、華やかな参道をみんなで散歩したり、近隣にお出かけをしながら季節を感じられたらと思っています。

春の到来と共に、みんなの心も明るく元気になった1日でした。



手入れしだすと夢中になります☆

はじめまして よろしくお願ひします! 2021~2022年度 萌 中途・新任者職員紹介



伊東 功介(いとう こうすけ) 配属先:ひだまり

前職は営業職で、福祉の仕事は初めてです。萌で働きたいと思ったきっかけは、日々仕事に追われ30年が過ぎ、働く意味、価値を純粋に考えたい思いがふつふつと強くなり、ひだまりを見学させて頂きました。

スタッフの方の思いが伝わる説明を頂き、メンバー様のはつらつとした姿を見て、ぜひここで働きたいと意を決しました。共に活動させて頂き、多くの「気づき」を得て早く貢献したいと思ひます。びしばし鍛えて頂ければ嬉しいです。



岩本 由海(いわもと ゆうみ) 配属先:彩食キッチンBon

はじめまして、岩本由海です。趣味はたくさんありますが一番のリフレッシュ方法は、散歩をすることです。周りの景色を見ながら、歩いてどこまででも行きます。綺麗な景色の場所や、おすすめの散歩コースなどあれば教えてください!

自分の目標は、岩本さんがいると場の雰囲気明るくなるねと言ってもらえるような人になることです。社会人1年目、たくさん学びながらメンバーさんと楽しく過ごせればと思ひます。よろしくお願ひします!



河合 苗代(かわい なえよ) 配属先:地域活動支援センターぴあぽ〜と

初めまして、この春に天理大学を卒業して、ご縁があり萌に入職しました。私は高校生の時から奈良県に住んでいるので、今年で7年目になりました。実習でお世話になった萌で働けることがとても嬉しいです。

私は今年から一人暮らしを始めたので、料理や掃除など一人暮らしに役立つ知識などがあれば教えてください。慣れないこともたくさんあると思ひますが、元気に頑張っていきたいと思ひていますので、よろしくお願ひします。



白井 晃子(しらい あきこ) 配属先:らそら

初めまして、今年1月から入職させて頂いてお願ひします。これまで、広島市で30年暮らしていましたが、故郷である奈良県に移り、働くことができうれしい気持ちでいっぱいです。

利用者の方々に関わらせていただく中で、日々成長していけるよう、努めたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



谷 和樹(たに かずき) 配属先:生活支援センターコスモールいこま

初めまして。昨年10月から入職しました、谷と申します。大学卒業後、大阪府の精神科病院で精神保健福祉士として働いてきました。大阪出身、大阪育ちなので、奈良県の地理を覚えるのに悪戦苦闘しております。地域で仕事をするのは今回が初めてとなります。

前職での経験も活かしつつ、専門性を高めていけるよう努めていきたいと思ひています。至らない点が多々あるかと思ひますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



森 実結季(もり みゆき) 配属先:ふれあい工房

初めまして。4月からふれあい工房に配属となりました、森実結季です。萌の一員として加えていただけたこと、本当に嬉しく思ひます。

趣味はおいしいパン屋さんめぐりで、特に好きなパンは焼き立てのメロンパンです。社会人1年目、そして奈良1年目でわからないことも多々あると思ひますが、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

率先して範を見せる姿勢を ~管理職SVで問われる部長の真価~

萌では2020年度から、部長級の管理職がスーパーバイズ(以下、SV)を学んでいます。組織運営と人材育成にSVの知見を取り入れるためです。2021年度も桃山学院大学教授の辻井誠人先生をお招きし、管理職SV研修を実施しました。

初年度は若手職員を対象に行いましたが、2年目は新任所長に対して部長がSVを実施しました。

萌での新任所長は中堅職員でもあり、専門職としての成長の他にも、後進育成や所長としての管理業務など、多岐にわたる悩みや課題を抱える時期です。そのような所長の育成を、部長が直接SVを行うことが狙いです。

2021年度の管理職SVの振り返りを3月10日に行いました。管理職SVが現場に浸透し組織が活性化するため大切なこととして、辻井先生は「部長が率先して『範を見せる姿勢』」を強調されました。

2022年度が管理職SVの最終年です。この1年は法人事業としてSVの導入を検討するとともに、SVを学ぶ部長の真価も問われる1年になります。

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ
0743-54-0800

ライク通信

なら西和障害者就業・生活支援センターライク
0743-85-7702

春に寄り添う

3月19日(土)にアスカ(奈良県高機能自閉症児・者の会)の保護者勉強会に招かれ、ホームヘルプサービスについて話しました。

12人の参加者は、10代後半から20代半ばの子どもがいます。「今は困っていないけれど将来が心配」、そんな漠然とした不安が共通点です。

普段の生活で自分の役割を持つきっかけとして、ヘルパーと一緒に自室を整頓する、自分の食事を作るなど、具体例を交えてサービスの活用方法をお伝えしました。「自身の子はホームヘルプの対象ではないと思っていた」「家族以外と関わることも大切だと気づいた」といった感想をいただきました。

さくらんぼは、子どもたちの巣立ちにも寄り添っていきたいと思っています。

顔の見える関係性を目指して

奈良県西和圏域の障害者就労支援に携わる関係機関が互いに有機的な連携を図ることを目的に、2022年3月16日(水)、西和圏域障害者就労支援連絡協議会を開催しました。

ライクの活動実績報告や国の施策動向を共有後、各機関から上がったテーマを基に意見交換を行いました。

雇用・福祉施策の連携の必要性が議論される中、地域の中で相互に相談できる関係作りが大切となります。

今後もより良い就労支援を目指し、「地域と共に」模索を続けたいと考えています。



★萌風香の購読★

萌風香は年4回1500部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌のサービス利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず萌風香編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いいたします。

▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は萌フェスタをはじめとした事業の支援や寄付を行なっています。会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会
00920-4-221824
後援会事務局(萌総務部内)
0743-54-0821(大東)

▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口500円(2口からお願いします)です。
連絡先:会事務局 ふらっと内
0743-54-3977

▽ひだまりクローバー 生駒精神障がい者後援会

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。
年会費 一口2000円から。
新規会員募集中!
連絡先:コミュニティスペースはなな内
0743-73-1050(佐藤)

▽地域家族会の情報 新型コロナウイルスの影響で、各例会の開催が中止・延期など変更されています。詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 <https://nijironokaze.jimdo.com/>

| 名称 | 月例会 | 時間 | 場所 | 問い合わせ先 | 電話番号 |
|-------------------|-------|--------|---------------------|--------|---------------|
| さくら会 (大和郡山市周辺) | 第3日曜日 | 13:30~ | 三の丸会館 | 会長関野 | 0743-54-6375 |
| ひだまり会 (生駒市周辺) | 第3土曜日 | 13:30~ | 市民活動推進センター ららポート | 会長上村京子 | 0743-78-0885 |
| 西和家族会 (西和7町周辺) | 第4土曜日 | 13:30~ | 王寺町やわらぎ会館 | 西村 | 0745-74-6203 |
| すみれ会 (大和高田市周辺) | 第3日曜日 | 13:30~ | 大和高田市中央公民館 | 三島 | 090-9889-7984 |
| のぞみ会 (橿原市周辺) | 第2日曜日 | 13:30~ | 県心身障害者 福祉センター | ぴあぼ〜と | 0744-24-2020 |